

令和7年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	障害者社会参加促進事業				事業番号	011-113	
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～		施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現		
			有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
	無		現状値	—			目標値	—		
	堺市SDGs未来都市計画		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう		ターゲット	10.2	
		有		取組	障害者児及びその家族に対する支援					
寄与するKPI		有・無	指標名	—						
	無	現状値	—			目標値	—			
2	関連計画			第5次堺市障害者計画・第7期堺市障害福祉計画・第3期堺市障害児福祉計画						
3	事業開始年度			平成 20 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠			障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（略称：障害者総合支援法） 堺市障害者団体社会参加促進事業補助金交付要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	特定非営利活動法人堺障害者団体連合会	対象数	単位
			1	団体
7	事業の目的	研修開催や参加、社会見学を通じて、障害者団体や障害者、その家族の交流や資質向上を図るとともに、地域社会との交流を深め、社会参加を促進する。		
8	事業内容	特定非営利活動法人堺障害者団体連合会に加入している障害者団体が開催・参加する研修会等に必要な経費（講師謝礼金や印刷製本費、会場・自動車借上料など）の1/2を補助する。 なお、令和3年度からは障害者の社会参加をより幅広く促進するため、補助対象経費を拡大したうえで、補助率を1/2とするように事業内容を見直している。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容			
9	主な支出先	特定非営利活動法人堺障害者団体連合会		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
	参加者数	人		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
			目標値	540	540	1,933	1,933
			実績値	1,296	1,933		
	達成率	240%	358%				
当該指標を選定した理由		補助があることにより行われた研修会等への参加者数増が、障害者団体の社会参加促進の指標になると考えられるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		目標値としては、前年度以上とする。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	補助件数	件		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
			目標値	27	27	45	
			実績値	40	45		
	達成率	148%	167%				
	当該指標を選定した理由		補助件数を増やすことが、障害者の社会参加の機会を増やすことに直結するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		目標値としては、前年度以上とする。					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害者社会参加促進事業	事業番号	011-113
-------	-------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	1,527	2,124	2,700	2,457	2,700
	財 国支出金	0	0	0		0
	源 府支出金	0	0	0		0
	内 市債	0	0	0		0
	記 その他（ ）	0	0	0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	1,527	2,124	2,700	2,457	2,700
14	人件費（b）	820	810	810	810	840
15	年間経費（c）=(a)+(b)	2,347	2,934	3,510	3,267	3,540

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
16	事業費内訳	障害者団体社会参加促進事業補助金	R6	決算	2,457	2,457		R6	決算	
			R7	予算	2,700	2,700		R7	予算	
			R6	決算				R6	決算	
			R7	予算				R7	予算	
			R6	決算				R6	決算	
			R7	予算				R7	予算	
			R6	決算				R6	決算	
			R7	予算				R7	予算	
			R6	決算				R6	決算	
			R7	予算				R7	予算	
			R6	決算				R6	決算	
			R7	予算				R7	予算	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

		区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	①	参加者数	人	1,296	1,933
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,934	3,267
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	2,264	1,690
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和6年度の参加者数は、前年度比150%となり大幅に増加した。これにより費用対効果も大幅に増加した。 コロナ禍で落ち込んだ参加者数の順調な回復に加え、令和3年度から補助対象経費を拡大し、団体が開催・参加する研修会等に必要な経費（講師謝礼金や印刷製本費等）等にも活用を可能とした効果が顕著に表れてきている。補助金の用途が広がり、団体の自主的な取組が進み、その結果多様性に富む活動内容や実施回数の増加につながり、参加者増につながるという良いサイクルができています。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和6年度は、令和5年度に比べ、補助件数5件、参加者数637人の増加となった。特に補助件数1件あたりの参加者数に着目すると、昨年度に比べ1件あたり約10人も増加したことになり、本補助金が活用された様々な活動が、障害者の社会参加のニーズを的確につかんでいることを示している。障害者が社会参加する動機・方法も様々であることから、本補助金を活用した様々な機会の創出が、障害者の主体的な社会参加の促進に大いに寄与している。本補助金は、堺市基本計画2025及び堺市SDGs 未来都市計画に掲げる取り組みに寄与している。
----	---